

化学生物総合管理学会 特別講演会
知ることは全ての第一歩
ーアスベストとナノマテリアルを例題にしてー

2008年 9月 26日 (金) 9:30~18:00 (受付開始 9:00)

会場：お茶の水女子大学

共通講義棟2号館2階201号室
(東京都文京区大塚2-1-1)

東京メトロ丸の内線茗荷谷駅下車 徒歩8分
東京メトロ有楽町線護国寺駅下車 徒歩8分

定員：320名

《開催案内》

科学的知見に基づいて論理的に思考することによって戦略を構想していくことの重要性がますます高まっている。その出発点は知ることであり、また知るための努力である。

今回の講演会ではアスベスト事例の過去から現在に至る毒性リスク評価・リスクコミュニケーション、リスク管理等に視点を置き、科学的な検証と解析および診断治療法の開発とそれに基づく未来への提言に関して論じ、さらに生体内ではアスベストと似た異物反応を惹起する可能性においてハザード、リスク評価が求められているナノ材料について今後如何に考えていったらよいかを論じる。

(講師名および講演題目は別紙に記載)

★参加登録:[事前登録制] 学会の会員以外の方も参加登録可能

★参加料:化学生物総合管理学会の会員は無料

会員以外の方は実費として1,000円負担

参加希望の方は、9月26日講演会参加希望と明記のうえ①参加者氏名、②所属(勤務先など)③終了後の意見交換会の出欠予定(会費制)をE-mailにて学会事務局にご連絡ください。後日、参加証を送ります。

E-mail:cb-jim2@cbims.net

TEL: 03-5978-5018

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

(別紙)

特別講演会 プログラム

知ることは全ての第一歩 —アスベストとナノマテリアルを例題にして—

開催日：2008年9月26日 9:30～18:00

場 所：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館

		(敬称略)
9:30～9:35	化学生物総合管理学会 会長挨拶	増田 優
9:35～9:45	講演のはじめにあたり	福島昭治
9:45～10:30	アスベストの近隣曝露影響に関する知見 奈良県立医科大学医学部医学科 地域健康医学教室 教授	車谷典男
10:30～11:15	アスベスト・中皮腫から発がんについて考える—先憂後楽— 順天堂大学大学院医学研究科 分子病理病態学 教授	樋野興夫
11:15～12:00	アスベスト代替品の生体影響評価の現状 聖マリアンナ医科大学予防医学教室 講師	高田礼子
12:00～12:45	多層カーボンナノチューブに含まれるアスベスト様粒子が生体へ及ぼす影響 国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター 毒性部 部長	菅野 純
12:45～13:40	昼食休憩	
13:40～14:25	化学発がん研究の未来へ託すもの—アスベストからナノマテリアルへ— 名古屋市立大学大学院医学研究科 分子毒性学分野 教授	津田洋幸
14:25～15:10	多層カーボンナノチューブの発がんハザード同定とナノマテリアルの リスク評価におけるその意義 東京都健康安全センター環境保健部 参事研究員	中江 大
15:10～15:30	休憩	
15:30～16:15	日本社会の化学物質総合管理能力を検証する お茶の水女子大学 教授	増田 優
16:15～17:00	粒子状、繊維状物質の有害性評価 中災防・日本バイオアッセイ研究センター 所長	福島昭治
17:00～18:00	総合討論	
	閉会挨拶	

講師、演題は都合により変更になる場合があります。

最終決定プログラムは学会ホームページ (<http://www.cbims.net>) に掲載します。

※終了後、意見交換会を行う予定(会費制 2,000 円程度)